

【セブ島北部沖で発生した地震に関する状況報告と渡航について】

9月30日（火）現地時間 22:00 頃、セブ島北部沖（レイテ島西部沖とセブ島北部沖の間地点）にて、マグニチュード 6.9 の地震が発生いたしました。震源地はセブシティからは 100km 以上離れております。

下記は今回利用いたします現地ランドオペレーター（ATTIC TOURS 社）のセブ駐在員の現地情報となります。（2025 年 10 月 1 日現在）

＜セブシティおよび語学学校（GLC）の状況＞

■語学学校（GLC）の状況

学生およびスタッフ、キャンパスや滞在施設、また電気・水道・インターネット・携帯通信等のインフラにおいても、被害はございません。大きな揺れは感じましたが、被害がなかったため、現在は通常通り授業を実施しております。

■市街地の状況（セブシティ）

セブシティでは一部の政府機関や小中学校が安全確認のため一時閉鎖となっていますが、その他の商業施設などは概ね通常通り営業しております。

マクタン島と市内を結ぶ橋も、昨晩は一時通行止めとなりましたが、すべて通行再開しており、通勤等にも問題は発生しておりません。

セブシティ内での被害としては、ベイフロント ホテル セブのフロント部分、NUSTAR モール 4 階 の一部内装部分に軽微なものがありましたが、いずれも通常営業中です。

■一部報道について

一部ネットニュースで崩壊した教会等の報道がありましたが、これはセブシティではなく、震源に近いセブ島北部にあるバンタヤン島の教会でした。

■余震について

市内で体感できる小さな揺れが 2 回ほどありましたが、大きな影響は出ておりません。

<現在の渡航判断について>

上記、現地ランドオペレーター（ATTIC TOURS 社）からの情報の通り、セブシティおよびマクタン島（空港含む）の主要な施設や交通インフラは地震の影響から速やかに回復し、既にほぼ通常通りの状態に戻っているとの報告を受けております。

また GLC キャンパス・滞在施設、およびセブシティの生活環境において被害は確認されておらず、教育機関としての安全が確保できているとのことです。

あわせて、外務省海外安全ホームページ（<https://www.anzen.mofa.go.jp/>）や在セブ日本国総領事館（https://www.cebuph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）のホームページからの情報も鑑み、今回のご渡航に関しては、現時点におきまして問題なく実施可能な状況であると判断しております。

引き続き弊社としましては現地の最新状況の推移に注視し、安全な運航に努めてまいります。

東武トップツアーズ株式会社福井支店

支店長 鈴木 茂之